

2024年6月吉日

令和6年度もお世話になります。よろしくお願いいたします。

校 長 佐藤勝子

今年度も、校長を務めさせていただきます、佐藤勝子（さとうかつこ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

山形市立楯山小学校は、今年で124周年を迎える、地域に愛されてきた学校です。その歴史と伝統の息づく楯山の地で、「楯山小」の名を冠としてからだけでも120年以上、地域の学校として愛されてきた学校です。その伝統を受け継ぐ一人として、「I・Eye・愛」（自分の目でしっかりみて愛情が大事と考え教育をする、という思いです。）を座右の銘に、子ども達、教職員の明るい声の響く学校を目ざして、誠意を尽くして参ります。

お気づきのことがありましたら、どうぞいつでも声をかけてください。

学校だよりの「よつば」は、現在の主要な学区である「風間」「十文字」「青柳」「新開」4地域の協和の象徴であり、「遺跡と泉の里」と称えられたこの地は、野呂川や高瀬川がもたらす豊かな水の恵みと、縄文・弥生時代からの信仰や生活の営みが今に続く地域でもあります。

また、現在は、大岡山や高瀬川、田園と果樹園に囲まれた自然豊かな美しい自然環境と、山形・天童を結ぶバイパスや高速道路のインターチェンジ、県立中央病院や医療大学を学区内に持ち、山形市流通団地や立谷川工業団地に隣接する工業・流通・医療などの要の役割を併せ持つ地域として発展を続けています。4月には「なでしこ大橋」も完成し、楯山地区の今後の更なる発展が期待できるものと思われます。

この広いグラウンドは子ども達が大好きな場所です。そして、子ども達にとって、楯山小学校の自慢の1つになっています。子ども達は、自慢のグラウンドで、今日も元気いっぱい遊んでいます。また、なかよし班の活動では、1年生から6年生が一緒の班で、おにごっこをしたり、ドッジボールをしたり、と上級生が優しくリードしています。1年生が困っていると、「どうしたの?」とすぐ声をかけてくれます。子ども達は上級生のお兄さん、お姉さんが大好きです。これがたてやまっ子の素晴らしい縦のつながりです。そして、伝統となっていくます。

さて、昨年度よりコロナウイルス感染症が5類相当になり、行動制限のない活動ができるようになりました。しかしながら、今年度は10年に一度の暑さの予想であり、熱中症対策が重点課題となっております。暑さの中でも、子ども達が安全・安心に活動できるよう対策を講じて取り組んで参ります。ご協力ご理解よろしくお願いいたします。

最後に、今後のホームページに関して、お願いがあります。

個人情報保護法により、特定の個人を識別できるものは掲載しないようにする必要があります。

したがって、今後掲載するものは制限をするなど、今まで以上に注意をして参ります。

ご不明なことがありましたら、直接学校にご連絡ください。

ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。